

東芝グループは、持続可能な地球の未来に貢献します。

eco スタイル

MAGNIA

2way

MAGNIA
3615R



MAGNIA
2615R



MAGNIA
3600



1way

MAGNIA
1105R



MAGNIA
LiTE 42S



MAGNIA
CT 400



高性能
スマート

- マグニアシリーズ基本仕様一覧
- マグニア搭載プロセッサ一覧
- セレクションガイド
- 主な周辺機器とオプションカード

MAGNIAは全機種インテル® Xeon® プロセッサに対応しています。

エントリーから基幹業務まで、 信頼性と拡張性を極めたラインアップ。



マグニアシリーズ基本仕様一覧

機種名	シャーシタイプ	CPU		メモリ				内蔵HDD				東芝 RAID	RAIDレベル	光学ドライブ	I/Oスロット(*)	LANポート	冗長電源	冗長FAN	サーバ設定支援ソフト	サーバ監視ソフト	
		プロセッサ名	最大	タイプ	最大容量	増設単位	機能	インターフェース	最大容量	種類(†1)	台数								ホットプラグ	SetupInstructor	HarnessEye/web
MAGNIA3615R	ラック 2U	インテル® Xeon® プロセッサ-X5670 インテル® Xeon® プロセッサ-E5620 インテル® Xeon® プロセッサ-E5506	2	DDR3L-1066 DDR3L-1333	192GB	1GB 2GB 4GB 8GB 16GB	ECC x4 SDDC ミラーリングメモリ オンラインスベアメモリ	SAS	7.2TB	73GB (15000rpm) 146GB (15000rpm) 146GB (10000rpm) 300GB (10000rpm) 600GB (10000rpm)	12(†2)	標準	○(†3)	0,1,5,6,10,50	DVD-ROM DVD-RAM	PCI-Express 2.0 x8:2(†5) PCI-Express 2.0 x8(LP):1 PCI-Express 2.0 x4(LP):1 PCI-Express x4(LP):1 PCI-Express 2.0 x4 (RAID-SE専用):1 PCI-X:1(†5)	1000BASE-T:2 100BASE-TX:1 (管理専用)	標準 (ホットプラグ)	標準	標準	
MAGNIA2615R	ラック 1U																				標準
MAGNIA3600	タワーラック 5U																				オプション (ホットプラグ)
MAGNIA1105R	ラック 1U	インテル® Xeon® プロセッサ-X3440 インテル® Pentium® プロセッサ-G6950	1	DDR3-1066 DDR3-1333	16GB (32GB)(†6)	1GB 2GB 4GB 8GB	ECC	SATA	8TB	73GB (15000rpm) 146GB (15000rpm) 146GB (10000rpm) 300GB (10000rpm)	4	標準(†7)	○	0,1,5,10 0,1(†7)	DVD-ROM DVD-RAM(†8)	PCI-Express 2.0 x8(LP):2 PCI-Express 2.0 x16:1 PCI-Express 2.0 x4:1 PCI-Express 2.0 x2:1 PCI:1	-	オプション	標準	標準	
MAGNIA LITE42S	タワーラック 5U																				オプション
MAGNIA CT400 SASモデル	コンパクトタワー																				標準
MAGNIA CT400 SATAモデル																					標準

HDDの容量は1GB=1000³バイト、1TB=1000³バイトで換算しています。
 (*1) 回転数表記がないものは7200rpmです。 (*2) 拡張ディスクシャーシを使用します。 (*3) 選択できます。
 (*4) HP:Hot Plug, LP:Low Profileの略です。 (*5) PCI-Xはオプション対応です、PCI-Express x8(1スロット)との選択になります。
 (*6) インテル® Xeon® プロセッサ-X3440を搭載した場合。
 (*7) ホットプラグモデルのHDDおよびRAIDは、最大容量4TB・台数2・ホットプラグ標準・RAIDレベル0,1となります。
 (*8) ホットプラグモデルはDVD-RAMが標準装備されています。

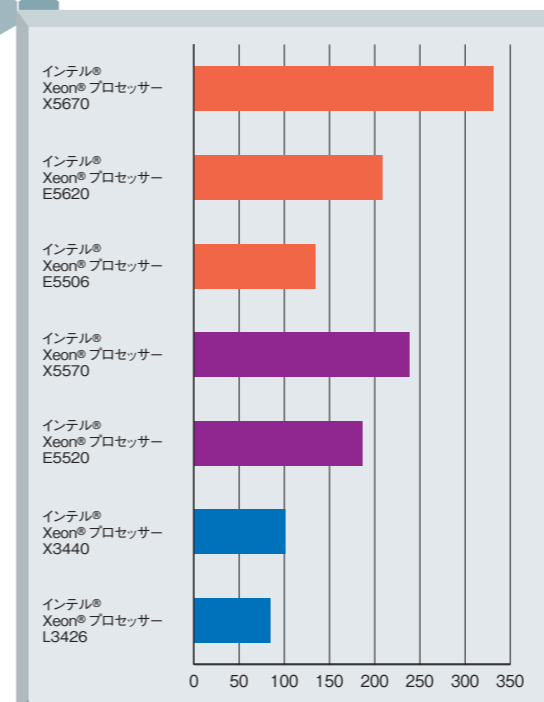
*一覧表の情報は制作時点のものです。最新情報はホームページ(http://www.magnia.toshiba.co.jp/dmsn/iaserver/compo_info/)をご覧ください。

マグニア搭載プロセッサ一覧

区分	プロセッサ名	コア数	周波数	FSB(MHz)/QPI(GT/s)	L2 キャッシュ	L3 キャッシュ	インテル® VT 対応	インテル® ハイバースレディング・テクノロジー対応	インテル® ターボ・ブースト・テクノロジー対応	採用機種
2Way (DP)	インテル® Xeon® プロセッサ-X5670	6	2.93GHz	6.40GT/s	256KB	12MB	○	○	○	MAGNIA3615R MAGNIA2615R
	インテル® Xeon® プロセッサ-E5620	4	2.40GHz	5.86GT/s	256KB	12MB	○	○	○	
	インテル® Xeon® プロセッサ-E5506	4	2.13GHz	4.80GT/s	256KB	4MB	○	○	○	MAGNIA3600
	インテル® Xeon® プロセッサ-X5570	4	2.93GHz	6.40GT/s	256KB	8MB	○	○	○	
1Way (UP)	インテル® Xeon® プロセッサ-E5520	4	2.26GHz	5.86GT/s	256KB	8MB	○	○	○	MAGNIA1105R MAGNIA LITE42S
	インテル® Xeon® プロセッサ-X3440	4	2.53GHz	2.5GT/s	256KB	8MB	○	○	○	
	インテル® Xeon® プロセッサ-L3426	4	1.86GHz	2.5GT/s	256KB	8MB	○	○	○	MAGNIA CT400
	インテル® Pentium® プロセッサ-G6950	2	2.80GHz	2.5GT/s	256KB	3MB	○	○	○	

*一覧表の情報は制作時点のものです。最新情報はホームページ(http://www.magnia.toshiba.co.jp/dmsn/iaserver/compo_info/)をご覧ください。

インテル® Xeon® プロセッサ性能比較



SPECint_base_rate2006による性能比較
Xeon5000番台の性能は2CPU使用時の値です。

マグニア標準添付ソフトウェア

SetupInstructor

RAID構成の設定やOSインストールを、ウィザードに従うだけで簡単に行うことができるサーバ設定支援ソフトウェアです。ネットワークの簡易設定やユーティリティソフトウェアのインストール、設定も効率的に行うことができます。
*対応するOSやソフトウェアは機種により異なります。

HarnessEye/web

センサー情報や障害情報一覧の表示、インベントリ収集機能、リモート制御などサーバの運用・監視をさせるソフトウェアです。管理マネージャー画面上へのメッセージPOPUPやメール送信などの障害通知機能により、遠隔地にいる管理者へ障害の発生を知らせることができます。
*対応する機能は機種により異なります。

マグニア対応OS一覧

機種名	Windows Server® 2008 R2		Windows Server® 2008		Windows Server® 2003 R2		Linux
	Standard	Enterprise	Standard	Enterprise	Standard i64	Enterprise i64	
MAGNIA3600	○	○	○	○	○	○	※
MAGNIA3615R	○	○	○	○	-	-	
MAGNIA2615R	○	○	○	○	-	-	
MAGNIA1105R	○	○	○	○	-	-	
MAGNIA CT400	○	-	○	-	-	-	
MAGNIA LITE42S	○	-	○	-	-	-	

○:プレインストールまたはバンドルモデルがあります。 ○:対応しています。
※:Linux使用時の動作範囲についてはホームページ(<http://www.magnia.toshiba.co.jp/dmsn/iaserver/linux/>)をご覧ください。



セレクションガイド^(*)

用途	想定規模	要求条件	推奨製品	最大CPU搭載数	最大HDD容量 ^{(*)2} (1台容量(GB)×台数)	RAID構成			ホットプラグ HDD	冗長電源	冗長ファン	タワー型	ラック型 (U数)	コンパクト	
						1	5	6							
ファイルサーバー	100名以下	コスト優先	MAGNIA LiTE42S	1	2000×4	○	○		○			○	5	○	
		スペース優先	MAGNIA CT400 (SATA)	1	2000×2	○	○		○			○		○	
		拡張性・信頼性を付加	MAGNIA CT400 (SAS)	1	300×3	○	○		○			○		○	
			MAGNIA 1105R	1	2000×4	○	○	○	○				○	1	
			MAGNIA 2615R	2	600×6	○	○	○	○	○	○		○	1	
	100名以上	信頼性・可用性を付加	MAGNIA 3600	2	300×16	○	○	○	○	○	○	○	○	5	
			MAGNIA 3615R	2	600×12	○	○	○	○	○	○	○	○	2	
			MAGNIA 2615R	2	600×6	○	○	○	○	○	○	○	○	1	
			MAGNIA 3600	2	300×16	○	○	○	○	○	○	○	○	5	
			MAGNIA 3615R	2	600×12	○	○	○	○	○	○	○	○	2	
Webサーバー	ユーザー限定 20名以下	コスト優先	MAGNIA LiTE42S	1	2000×4	○	○		○			○	5	○	
		スペース優先	MAGNIA CT400 (SATA)	1	2000×2	○	○		○			○		○	
			MAGNIA CT400 (SAS)	1	300×3	○	○		○			○		○	
	20名～100名	アクセス増対応 信頼性・可用性を付加	MAGNIA 1105R	1	2000×4	○	○	○	○				○	1	
			MAGNIA 2615R	2	600×6	○	○	○	○	○	○		○	1	
			MAGNIA 3600	2	300×16	○	○	○	○	○	○	○	○	5	
			MAGNIA 3615R	2	600×12	○	○	○	○	○	○	○	○	2	
	外部公開	24時間365日連続稼働	MAGNIA 2615R	2	600×6	○	○	○	○	○	○	○	○	1	
			MAGNIA 3600	2	300×16	○	○	○	○	○	○	○	○	5	
			MAGNIA 3615R	2	600×12	○	○	○	○	○	○	○	○	2	
メールサーバー	20名以下	コスト優先	MAGNIA LiTE42S	1	2000×4	○	○		○			○	5	○	
		スペース優先	MAGNIA CT400 (SATA)	1	2000×2	○	○		○			○		○	
			MAGNIA CT400 (SAS)	1	300×3	○	○		○			○		○	
	20名～100名	アクセス増対応 信頼性・可用性を付加	MAGNIA 1105R	1	2000×4	○	○	○	○				○	1	
			MAGNIA 2615R	2	600×6	○	○	○	○	○	○		○	1	
			MAGNIA 3600	2	300×16	○	○	○	○	○	○	○	○	5	
			MAGNIA 3615R	2	600×12	○	○	○	○	○	○	○	○	2	
	100名以下	アクセス増対応 信頼性・可用性を付加	MAGNIA 2615R	2	600×6	○	○	○	○	○	○	○	○	1	
			MAGNIA 3600	2	300×16	○	○	○	○	○	○	○	○	5	
			MAGNIA 3615R	2	600×12	○	○	○	○	○	○	○	○	2	
100名以上	処理能力・可用性・管理性を兼備	MAGNIA 2615R	2	600×6	○	○	○	○	○	○	○	○	1		
		MAGNIA 3600	2	300×16	○	○	○	○	○	○	○	○	5		
		MAGNIA 3615R	2	600×12	○	○	○	○	○	○	○	○	2		

(*)1 本セレクションガイドは機種選定の目安です。詳細のスペックや要求条件により変動する場合があります。詳しくは営業担当にご相談ください。

(*)2 HDDの容量は1GB=1000³バイト、1TB=1000³バイトで換算しています。

*一覧表の情報は本カタログ制作時点のものです。最新情報はホームページ(http://www.magnia.toshiba.co.jp/dmsn/iaserver/compo_info/)をご覧ください。

マグニアの主な周辺装置とオプションカード(2011年5月現在)

カセット磁気テープ装置	無停電電源装置	ラック
LTO Ultrium-4, SCSI CMT3440A	0.5kVA	UPS3311A 41Uラック CAB3570A
LTO Ultrium-3, SCSI CMT3436A	0.75kVA	UPS3312A 41Uラック(連結用) CAB3571A
LTO Ultrium-2, SCSI CMT3435A	0.75kVA ラックタイプ	UPS3323A 24Uラック CAB3572A
DAT160, SCSI CMT3438A	1.0kVA	UPS3313A 11Uラック CAB3573A
DAT160, USB CMT3442A	1.5kVA	UPS3314A ラック連結キット ACS3489A
DAT72, SCSI CMT3437A	1.5kVA ラックタイプ	UPS3321A キーボード/マウスセット KBU1101B
DAT72, USB CMT3439A/CMT3441A	3.0kVA ラックタイプ	UPS3322A ラック17型液晶モニタセット ACS3513A
RDX, USB SRD3001A/SRD3002A	UPSエクスパンダ	ACS3418A 4ポートスイッチボックス ACS3479A
オプションカード(SCSI)	UPS制御プログラム	ACS3314C 8ポートスイッチボックス ACS3479B
Single End, 32bit PCI SCI1108A	UPSネットワーク制御プログラム	ACS3315A キーボードトレイ 1U ACS3490A
LVD/Single End, 64bit/32bit PCI SCI1111A	その他周辺装置	ラック汎用トレイ 2U ACS3491A
LVD/Single End, PCI-Express SCI1112A	キーボード/マウスセット	ラック汎用トレイ 1U ACS3493A
オプションカード(LAN)	フロッピーディスクドライブ	ACマルチタップ APS3452A
1000BASE-T, PCI-Express Full Height/Low Profile BCP3451A	拡張IOユニット	外部ストレージ
1000BASE-T, 2Port, PCI-Express Full Height/Low Profile BCP3452A		ディスクアレイ装置については東芝ソリューション株式会社の ホームページをご覧ください。
1000BASE-T, 4Port, PCI-Express Full Height/Low Profile BCP3453A		

*機種により対応が異なります。各周辺装置、オプションカードの詳細情報はホームページ(<http://www.magnia.toshiba.co.jp/dmsn/iaserver/magnia/op/>)をご覧ください。

●Intel, Intel ロゴ, Intel Inside, Intel Inside ロゴ, Intel Core, Core Inside, Pentium, Pentium Inside, Xeon, Xeon Inside は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporationの商標です。●LinuxはLinus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。●MAGNIA, SetupInstructorは、株式会社 東芝の商標です。●Microsoft, Windows, Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。●Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。●SPECIはStandard Performance Evaluation Corporationの商標です。●本カタログに掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。●詳細の仕様、構成および制限事項などは「ハードウェア構成ガイド」をご確認ください。●誤動作や故障により、本商品の記憶内容が変化・消失する場合がございますが、これによる損害、および本商品の使用不能により生じたお客様の損害については、当社はいっさいその責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。大切なデータなどは、必ずお客様の責任の下、普段からこまめにバックアップをお願いします。

東芝は、環境や省エネルギーに対応できる環境調和型コンピューターを推進しています。



安全に関するご注意

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず「取扱・操作に関する説明書」をよくお読みください。

TOSHIBA

株式会社 **東芝**

ネットワーク&ソリューション統括

〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1

TEL : (03)3457-3019

Email : pcserver@ieg.toshiba.co.jp

●資料の内容はお断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

東芝は、Microsoft® Windows Server® 2008 R2を積極的にサポートして参ります。



インテル® Xeon® プロセッサーに対応

PS073©110508(8)Q

2011年5月作成